

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	飯田勤労者共済会支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	産業振興支援課		包含する細々目	1	5	1	1	10	2	17,853
政策	1多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	12 人材育成と企業、人材誘導											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要	関連計画 条列等					
		事業期間	S48	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田下伊那地域の中小企業(300人未満)の事業主	飯田下伊那地域の中小企業勤労者数(H13事業所統計):人	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
	飯田下伊那地域の中小企業(300人未満)の勤労者	飯田下伊那地域の中小企業事業所数(H13事業所統計):所	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	<補助金支給先>(財)飯田勤労者共済会		74629	74624		
			10408	10408		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
会員の中小企業の福利厚生負担を軽減、勤労者にとって福利厚生サービスを受けられる	勤労者共済会加入率(年度末会員数/中小企業勤労者の数):%	18目標	19.5	最終目標	20	
		18実績	18.1	19目標	19.6	↑
		23目標	20	23実績		最終目標達成年度
		18目標	17.5	最終目標	18	
		18実績	16	19目標	17.6	↑
		23目標	18	23実績		最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	福利厚生サービスを提供する(財)飯田勤労者共済会への補助を実施し、様々な福利厚生事業を展開する。	18年度の実績	(財)飯田勤労者共済会へ補助金を交付 ・国庫補助自立化推進事業補助金の受給 ・平成3年締結の協定書による市町村負担金の変更 (財)飯田勤労者共済会の事業 ・共済給付事業(慶弔見舞金・退職慰労金・健康管理給付等) ・健康の維持増進に係る事業の見直し実施 ・自己啓発及び余暇活動に係る事業の見直し実施	会員事業者数:件 共済会会員数:人 事業参加者数:人	1,729 13,537 12,165
		19年度計画	(財)飯田勤労者共済会へ補助金を交付 ・国庫補助自立化推進事業補助金の受給 (財)飯田勤労者共済会の事業 ・共済給付事業(慶弔見舞金・退職慰労金・健康管理給付等) ・健康の維持増進に係る事業の見直し実施 ・自己啓発及び余暇活動に係る事業の見直し実施	会員事業者数:件 共済会会員数:人 事業参加者数:人	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	5,400	5,400
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	3,797	3,807
一般財源	8,989	8,646	
事業費計(A)	18,186	17,853	
人件費	正規職員所要時間	18年度 100	19年度 100
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	358	358
	トータルコストA+B	18,544	18,211

特定財源内訳や補足事項	自立化推進事業(国庫補助):5,400千円 中小企業勤労者総合福祉推進事業市町村負担金(町村会員数×900)
-------------	---

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	勤労者の充実したゆとりある生活の実現 中小企業の活力を維持・発展	共済会給付事業申請割合(給付件数/年度末会員数):%	現状値	27	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	30
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<p>独自の福利厚生事業ができない中小企業事業所に福利厚生サービスするための互助会を設立する要望が寄せられた。</p> <p>&lt;経過&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和48年11月飯田市、下伊那郡にそれぞれ勤労者互助会が設立</li> <li>・昭和53年両者が合併し飯伊勤労者互助会</li> <li>・昭和63年飯田勤労者共済会に名称変更</li> <li>・平成4年(財)飯田勤労者共済会設立</li> </ul>	<p>共済会の会員数および事業利用者はやや減少傾向にある。</p>	<p>安い会費で給付事業・各種事業展開を評価する声が多い。</p> <p>事業参加者には好評である。</p>

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	<p>(財)飯田勤労者共済会運営支援委員会を年4回開催し、自立化に向けた検討結果を理事会へ提言する。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>(財)飯田勤労者共済会運営支援委員会の提言について、理事会等への周知と理解</p>

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	<input type="checkbox"/> 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	